

# 特集



中村副議長(兵庫県中央会会長)・出口議長(奈良県中央会会長)・長尾副議長(愛知県中央会副会長)

全国中央会・奈良県中央会は、11月18日、『新たな出発 未来を創る団結の力』を合い言葉に、「第62回中小企業団体全国大会」を、なら100会館(奈良県奈良市)において開催しました。

# 「第62回中小企業団体全国大会」を開催

(全国中央会・奈良県中央会)

## 新たな出発 未来を創る団結の力



国歌・団体歌斉唱(大ホール)

第62回大会では、全国から中小企業団体の代表者2千名が参集し、井上義郎本県中央会副会長の開会宣言の後、出口本県会長が大会議長に選任され、円高、デフレに対する経済対策の実行を求めるとともに、中小企業憲章を具体化する中小企業対策を拡充することなど、14項目にわたる中小企業が直面する諸問題の解決と今後の方向性について決議しました。



(開会宣言) 奈良県中央会 井上義郎副会長

また、決議案に関連して、「円高、デフレ克服に向けた景気対策、中小企業対策の強化(佐賀県中央会・内田健会長)」「中小企業に配慮した雇用対策と中小企業の新たな成長を促す税制支援の強化(奈良県中央会・荒木一義理事)」についての意見発表が行われました。

さらに、奈良県中小企業団体中央会・清水幹夫副会長が、決議事項の早急な実現を求める『大会宣言』を高らかに宣言し、満場の拍手の下、採択されました。



(大会宣言) 奈良県中央会 清水幹夫副会長



(意見発表) 奈良県中央会 荒木一義理事

# 特 集

## 【決議事項】

- I. デフレ不況の克服、連携組織対策等中小企業対策の強化
  1. 円高、デフレ脱却のための経済対策の実行
  2. 中小企業憲章を具体化する中小企業対策の拡充
  3. 組合活動への支援の拡充、中央会の支援体制の強化
- II. 中小企業の生産性の向上
  - II-1. 労働
    1. 中小企業に配慮した雇用対策の推進
    2. 社会保障制度等の見直し
    3. 中小企業に配慮した労働・教育政策の推進
  - II-2. 情報
    1. 中小企業のIT化支援の強化・拡充
  - II-3. 商業
    1. 商店街及び中小小売商業の活性化支援の拡充
    2. 中小流通業・サービス業振興対策の強化
    - II-4. 税制
      1. 中小企業に新たな成長を促す税制支援の強化
- III. 中小企業の経営の安定化
  - III-1. 金融
    1. 資金繰り対策の継続及び中小企業金融機

能の拡充

III-2. 公正な競争環境の整備

1. 優越的地位の濫用・不当廉売等への積極的対処

2. 下請法の整備・機能強化と取引適正化の徹底

3. 中小企業と官公需適格組合の受注機会の増大

また、大会では、荒井正吾奈良県知事からの歓迎の挨拶・松下忠洋経済産業副大臣から「円高、デフレ脱却のため必要な施策を全力で推進したい」旨の力強いご祝辞をいただくとともに、太田俊明厚生労働審議官（細川律夫厚生労働大臣祝事代読）、杉山秀二（株商工組合中央金庫代表取締役副社長から）ご祝辞



来賓挨拶 松下忠洋経済産業副大臣



来賓挨拶荒井正吾奈良県知事

をいただきました。さらに、各政党を代表して、民主党・滝実総務委員長、自由民主党・田野瀬良太郎幹事長代理からご挨拶をいただいた他、各関係機関代表多数のご臨席を得ました。

また、大会の席上、優良組合34組合、組合

功労者68名、中央会優秀専従者50名に、全国中央会会長より表彰状が授与されました。奈良県からは、組合功労者に、奈良県



組合功労者総代 奈良県靴下工業協同組合 飯田清嗣理事

# 特 集

## 大会宣言

わが国経済は、円高、デフレの長期化、欧米経済の減速等により先行きの不透明感が増している。秋口より景気の停滞感が一層強まり、景気の腰折れが懸念されるなど、中小企業は極めて困難な経営状況にある。

わが国は、約二十五兆円と言われる需給ギャップを解消し、「新成長戦略」を確実に実行することによって、新たな需要を生み出し、一刻も早くこのデフレから脱却することが急務となっている。

政府は、六月に「中小企業憲章」を閣議決定し、新たに中小企業政策の基本方針を定めた。その中で、「中小企業組合、業種間連携などの取組を支援し、力の発揮を増幅する」ことが、基本原則の一つとされている。中小企業は、この組合のもとに団結し、新たな成長分野や地域活力の再生に向けて果敢に挑戦していくことが期待されている。

全国の中小企業団体の代表二千名は、本日、平城遷都千三百年祭が開催されている、ここ奈良の地に集い、「新たな出発 未来を創る 団結の力！」を合言葉に、中小企業が直面する課題の解決と今後の方向について討議を重ね、その必要な施策について決議した。

政府は、中小企業一社一社が、新たな成長の動きを実感できるよう、本大会の決議事項を早急に行うべきである。

われわれもまた、地域社会の絆を再生し、雇用の創出に努めるとともに、持てる力を組織に結集し、豊かな国民生活が実現されるよう全力を尽くすことを誓う。

右宣言する。

平成二十二年十一月十八日  
第六十二回中小企業団体全国大会



中群主査(左) 稲垣主査(中央)

合功労者総代として登壇し受賞されました。  
中央会優秀専従者には、本県からは、中群啓  
至業務第二部主査・稲垣政幸業務第二部主査  
が、それぞれ表彰されました。

靴下工業協  
同組合の飯  
田清嗣理  
事、奈良県  
鉄構建設業  
協同組合の  
西窪正男代  
表理事の2  
名が表彰さ  
れ、飯田清  
嗣理事が組

引き続き、次期開催地の発表では、「愛知県」が選ばれ、全国中央会の鶴田会長より愛知県中央会長谷川正己副会長に大会旗の継承が行われました。  
次期開催地会長挨拶では、愛知県中央会会長でもある鶴田欣也全国中央会会長の挨拶後、ビデオにより愛知県のPRが行われ愛知県での開催への期待が高まりました。  
9時30分からのオープニングアトラクションでは、大会会場にて、天理大学雅楽部による、雅楽の実演・舞太鼓あすか組による和太鼓の演奏が行なわれ、午後からは奈良県の「四季」PRビデオ放映と、「せんとくん・まんとかんショー」が行われました。



オープニングイベント(中ホール) 雅楽(天理大学雅楽部)



オープニングイベント(大ホール) 和太鼓(舞太鼓あすか組)



せんとくん・まんとかんショー

特 集

奈良中小企業フェア



また、当日は、奈良県中央会が主催する「奈良中小企業フェア」を同会場の屋外会場（時の広場）・屋内会場（エントランスホール）にて午後3時まで開催いたしました。エントランスホールの「組合・企業情報コーナー」では、奈良の地場産業である製菓・プラスチック組合の紹介や県内ものづくり中小企業9社が試作開発した新商品・新技術などを展示紹



「奈良のいいもの展示即売・飲食コーナー」では、奈良の特産品・土産物の展示即売が、出展者18団体26ブースにより開催されま

介しました。「伝統工芸実演コーナー」では、国の指定を受けた伝統工芸である、高山茶筌と奈良筆の紹介と実演を行い、高山茶筌と奈良筆を作る工程を見て頂きました。その他、奈良の農商工連携認定事例商品の紹介や観光情報案内をしました。



「奈良のいいもの展示即売・飲食コーナー」では、奈良の特産品・土産物の展示即売が、出展者18団体26ブースにより開催されました。

した。奈良の特産品としては、三輪素麺・奈良漬を始め、鮎・アマゴの塩焼き等が販売されました。土産物としては、平城遷都1300年記念商品のお菓子やドリンクなど「せんとくんマーク」の入った商品も多数取り揃えられていた他、パワーとエネルギーの新しい祭り「パサラ祭」が行われ、奈良の魅力を紹介しました。



写真提供者：福井悟 氏